

令和7年度清水町生活安全推進協議会兼清水町消費生活被害防止ネットワーク会議の報告

日時：令和7年12月3日14：00～14：52

場所：清水町役場1階 会議室1

出席委員 渡邊 進、安田 薫、細田 秀夫、小原 忠雄、山下 勇、竹中 直也
欠席委員 長尾 克幸、中村 孝文
清水町出席 町民生活課長 奥田啓司、 参事 前田 真、 係長 野々村麻希
消費生活センター 安ヶ平 美香

1 開会 町民生活課参事 前田 真

- ・ 生活安全条例に基づき生活安全推進協議会の会議を開催する。
- ・ 清水町消費者被害防止ネットワーク会議について、内容が重なる部分が多いことから合同開催とする。

2 役員互選

- (1) 事務局案として、会長 渡辺 進 さん、副会長 細田 秀夫 さん 承認

3 会長あいさつ 渡辺進 会長

4 報告事項

- (1) 清水町の犯罪、事故等の現状について 事務局より資料に沿って報告

ア 清水町内の犯罪について

窃盗が町内で多い傾向にある。詐欺未遂が1件と、子ども・女性を対象となった犯罪が3件あった。

イ 清水町内の交通事故について

清水町は2本の国道が交差しており、町民だけではなく、旅行者の事故もある。前年より事故が増加傾向にある。

- (2) 清水町生活安全推進委員会（交通安全・防犯）の活動状況について

ア 交通安全

小学校の授業引率や、お祭りに伴う神輿の交通整理を行った。

イ 防犯活動

小学校下校時間に合わせて、青色パトロールの実施している。秋まつりの際は、防犯パトロールを会場で実施した。

ウ 交通少年団活動

小学生10人で活動を行い、夏と冬の交通安全運動時は、運転者に交通安全の呼びかけと啓発品の配布を行った。

エ 清水町こぐまクラブ大会

年長清水39人と御影9人の園児と保護者が参加し、歌やダンスをとおして交通安全について学んだ。

(3) 消費生活相談の状況について

相談件数について、今年度は例年より多い傾向にある。

高齢者の相談は、毎年多い状況ですが、苦情相談だけではなく、生活の中での困りごとなど消費生活相談とは違う内容の相談もあり、行政や関係機関へつないで連携を図っています。

消費生活相談への質問

竹 中： 製品安全の相談で発火した報告はないか。

安ヶ平： 発火の報告はない。

竹 中： 相談に訪れた高齢者の住まいは独居が多いか。

安ヶ平： 独居が多い傾向であるが、夫婦で相談に来ることもある。

(4) 歳末防犯交通安全運動について

今年度も例年通り実施する。日程は、12月18日（木）である。

5 その他

(1) 意見交換

前 田： 全員から一言いただきたい。

渡 辺： 歩行者が車を見ずに横断歩道を渡ることが多い。運転手も気をつけないければならない。

安 田： 車自体が静かになったことから歩行者が車に気づかないこともあるのではないか。

細 田： 外国の人が増えてきたが、トラブルなどないか。

前 田： ゴミのトラブルが増えてきた。先入観もあるが、お互いを理解し合う必要がある。外国人に限らず、分別が難しく、分別ができていないまま、ゴミステーションに不法投棄が増えてきている。

安 田： 消費者被害の話をもっと多くの人に広めてほしい。物価高で、町独自で何か行ってほしい。

安ヶ平： 出前講座を行っていることをもっと周知に努めたい。

小 原： 清水消費者協会の活動が縮小していつているように感じる。若い人を増やしていかなければならない。

前 田： 町内会も担当しているが、消費生活についてもっと自分事としていくために、町内会の役割に消費相談係もあっていいと感じた。

安ヶ平： 他機関と協力としては、民生員が中に入って消費生活センターとつないでくれることもある。

小 原： 町内会と出たが、町内会も会員が８０人いるところもあれば、４人しかいないところもある。若い人の参加も少なく、縮小しても仕方ないと思わざる負えない場面もある。

竹 中： 昨日、外国人から犬のトラブルの連絡があった。連絡がきたものに関しては、基本的に対応するが、案件が込み合っている時など、対応しきれないときがある。

前 田： 犬がリードに絡まっているという問い合わせだった。どこに相談していいのかわからなくいろいろなところに連絡したと思われる。そういった相談体制も考える必要がある。

竹 中： 火災については、今年は、少ないが、今年度は３件あった。皆さんも気をつけてほしい。

教育長： 生活安全推進委員会の皆さんには、いつも見守りありがとうございます。今年度から町内中学生は、自転車で登校時は、ヘルメット着用義務とした。また、小学校では、できるだけヘルメットを着用して自転車を乗るという事とした。